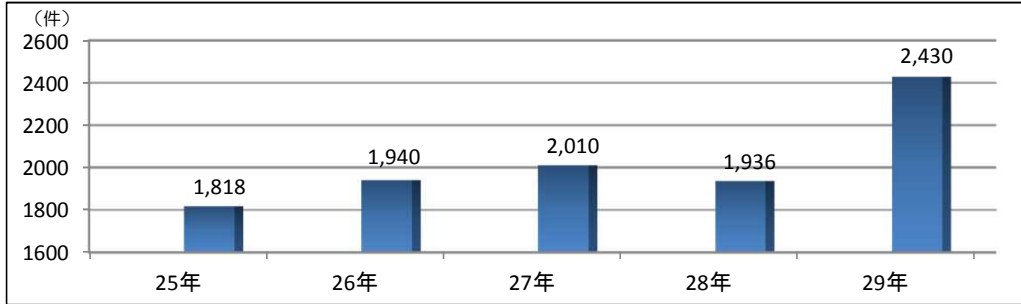


エゾシカが関係する交通事故発生状況(道内)

※ 平成29年の数値は、平成30年2月6日集計

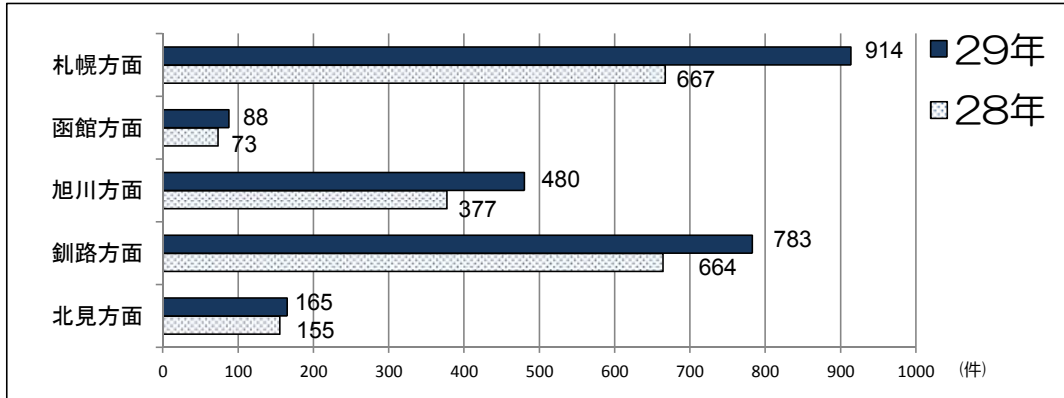
1 年別発生状況(過去5か年)

過去5年で最も多くなっている。(全道の記録が残る平成16年以降最多となっている)



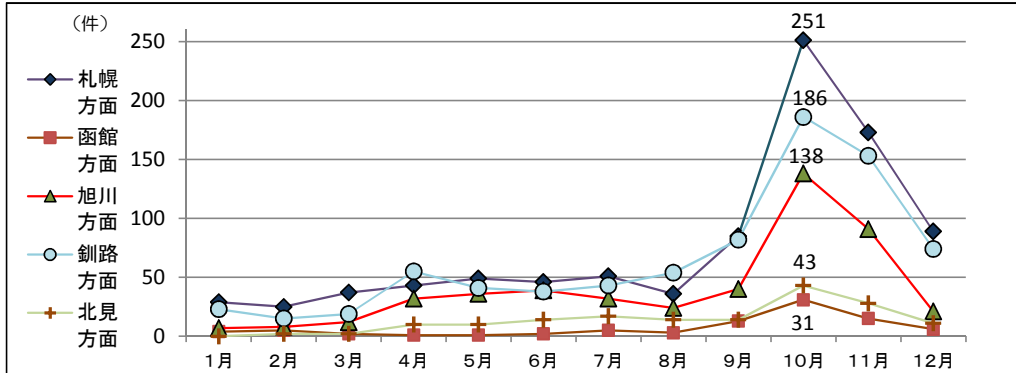
2 方面別発生状況(平成28年・平成29年)

平成28年、29年共に、札幌方面が最も多くなっている。



3 月別発生状況(平成29年)

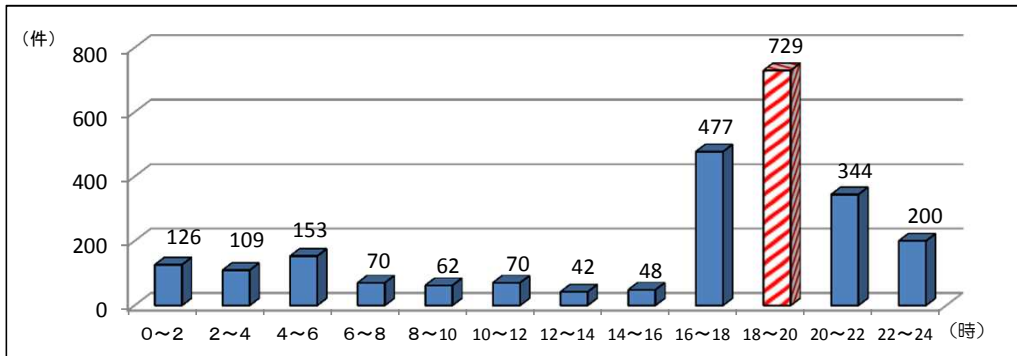
全方面で10月が最も多い。



区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
札幌方面	人身	2								1			3
	物件	27	25	37	43	49	46	51	36	85	250	173	89
函館方面	人身												0
	物件	4	5	2	1	1	2	5	3	13	31	15	6
旭川方面	人身			1									1
	物件	7	8	11	32	36	39	32	24	40	138	91	21
釧路方面	人身			2									2
	物件	23	15	19	53	41	38	43	54	82	186	153	74
北見方面	人身												0
	物件	0	2	2	10	10	14	17	14	14	43	28	11
小計	人身	2	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	6
	物件	61	55	71	139	137	139	148	131	234	648	460	201
合計	63	55	72	141	137	139	148	131	234	649	460	201	2430

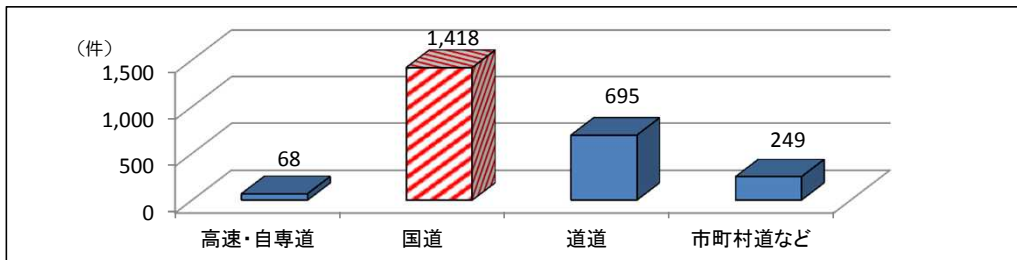
4 時間別発生状況(平成29年)

18~20時が最も多く、全体の30.0%を占めている。



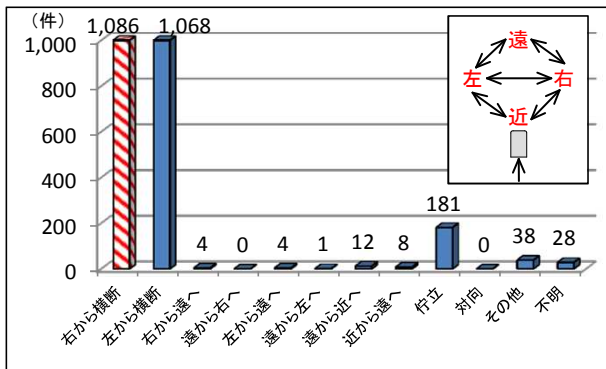
5 道路別発生状況(平成29年)

国道での発生が最も多く、全体の58.4%を占めている。



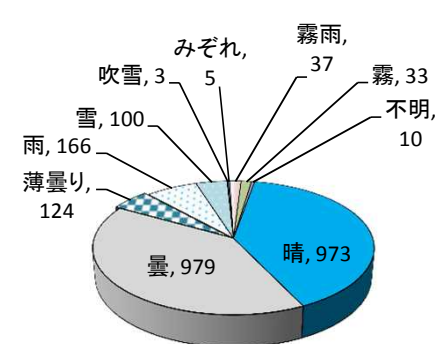
6 鹿の進行方向別発生状況(平成29年)

右から横断・左から横断が多く、合わせると全体の88.6%を占めている。



7 天候別発生状況(平成29年)

曇での発生が最も多く、全体の40.3%を占めている。



7 エゾシカが関係する死亡事故・人身事故の発生状況(平成29年)

○ 死亡事故の発生状況

平成29年中の発生は無し

○ 人身事故の発生状況~6件

(1) 札幌方面管内(1月中、18~20時、市道)

軽四乗用車が直線路を進行中、鹿と衝突して、その弾みで対向車線に進出し、対向進行中の普通乗用車と衝突して、普通乗用車の運転者が負傷した。

(2) 札幌方面管内(1月中、16~18時、国道)

軽四乗用車が直線路を進行中、前方で鹿が横断したため停止した軽四乗用車に追突し、追突された軽四乗用車の運転者が負傷した。

(3) 旭川方面管内(3月中、20~22時、道道)

普通乗用車が直線路を進行中、道路左側にいた多数の鹿に気付きブレーキをかけたところ、凍結路面によりスリップし、対向進行中の普通乗用車と衝突して、対向車の運転者及び同乗者が負傷した。

(4) 釧路方面管内(4月中、22~24時、国道)

普通乗用車が直線路を進行中、前方で鹿が横断したため停止した普通乗用車に追突し、追突された普通乗用車の運転者が負傷した。

(5) 釧路方面管内(4月中、4~6時、国道)

普通乗用車が直線路を進行中、道路外から飛び出した鹿と衝突し、左側の路外に転落して、同乗者2名が負傷した。

(6) 札幌方面管内(10月中、18~20時、国道)

大型貨物車が直線路を進行中、前方で佇立中の鹿を認め、減速した普通乗用車に追突し、普通乗用車の運転者が負傷した。

